

Injury Alert (傷害速報)類似事例

箸が突き刺さったことによる口腔副鼻腔異物 (No.34 歯ブラシによる口腔内外傷の類似事例 11)

事例	基本情報	年齢：2 歳 0 か月 性別：男児 体重：12kg 身長：84cm
	家族構成	父(35 歳)、母(35 歳)、兄(11 歳)、姉(7 歳)、本児の 5 人家族
	発達・既往歴	特記事項なし
臨床診断名		口腔副鼻腔異物
医 療 費		入院 771,480 円 外来 42,150 円
原因 対象	対象名称	プラスチック製の黒い箸(長さ約 25cm)
	入手経路 使用状況	100 円ショップで購入し、普段は自宅で成人が使用
発 生 状 況	発生場所	自宅食卓
	周囲の人 周囲の環境	母
	発生年月日	2023 年 2 月 X 日 (水) 午後 8 時 40 分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	2023 年 2 月 X 日午後 8 時 40 分の夕食時、本児は成人用箸を持っておかわりを待っていた。母親が家事をするために目を離した隙に、本児は歩き回り、急に泣き声をあげた。母親が駆けつけると本児の口腔内に箸が刺さっており、当院へ救急搬送された。
医療機関受診時 以降の治療経過 転帰		箸が刺さったまま当院へ救急搬送された。来院時の第一印象、バイタルサインに異常なく、箸は左硬口蓋に刺さっていた(図 1)。本児は痛がる様子はなく、口腔内に出血はなかった。安全管理のため箸は門歯から 2.2cm の位置でニッパーを用い切断した。頭部単純 CT 画像では箸の先端が硬口蓋を突き抜けて蝶形骨洞付近で止まっていた(図 2)。同日、全身麻酔下で耳鼻咽喉科医師により異物摘出が行われた(図 3)。術後は抜管されて集中治療室へ入室した。術中、術後ともに止血は十分得られており、術後 1 日目に一般病棟へ転棟した。術後は抗菌薬を予防的に投与し、大きな合併症・後遺症なく経過している。
キーワード		口腔内外傷、箸



【図 1】来院時



【図 2】頭部 CT



【図 3】摘出された異物